

第3回 「国語」と「日本語」のはざままで

関西外国語大学 国際言語学部

教授 米山 敬子

1. アンケート あなたは、主としてどちらを使っていますか。

- ① A: こんにちは
B: こんにちはわ
- ② A: 主として縦書き
 B: 主として横書き
- ③ A: カルテット
B: クアルテット
- ④ 「合併症」の意味
 A: ある病気が別の病気を引き起こす
B: 検査や手術が原因で、別の病気を引き起こす
- ⑤ A: 交流会館
B: コミュニティセンター
- ⑥ A: Yoneyama Takako
 B: Takako Yoneyama
- ⑦ A: 可視化
B: 見える化
- ⑧ A: ユズコショウ
B: ユズゴショウ

2. 国が示す基準と研究報告

- ① 現代仮名遣い 文化庁 H>国語施策・日本語教育>国語施策情報>内閣告示・内閣訓令>現代仮名遣い
本文 第2 (表記の慣習による特例)

2 助詞の「は」は、「は」と書く。

例 今日は日曜です 山では雪が降りました
あるいは または もしくは
いずれは さては ついては ではさようなら とはいえ
惜しむらくは 恐らくは 願わくは
これはこれは こんにちは こんばんは (以下略)

- ② 公用文作成の要領 PDF (昭和27年4月4日)

国語施策情報>表記の基準に関する参考資料>公用文に関する諸通知>公用文作成の要領

第3 書き方について

- 1 一定の猶予期間を定めて、なるべく広い範囲にわたって左横書きとする。

注1. 文の書き出しおよび行を改めたときには1字さげて書き出す。

注2. 句読点は、横書きでは「、」および「。」を用いる。

事物を列挙するときには「・」(なかてん)を用いることができる。(以下略)

- ③ 外来語の表記 (平成3年6月28日) 国語施策情報>内閣告示・内閣訓令>外来語の表記
留意事項その2 (細則的な事項)

II 第2表に示す仮名に関するもの

- 3 「クァ」「クィ」「クェ」「クォ」は、外来音クァ、クィ、クェ、クォに対応する仮名である。

〔例〕クァルテット クィンテット クェスチョンマーク クォータリー

注1 一般的には、「クア」「クイ」「クエ」「クオ」又は「カ」「キ」「ケ」「コ」と書くことができる。

〔例〕クアルテット クィンテット クェスチョンマーク クォータリー
カルテット レモンスカッシュ キルティング イコール

- ④ 「病院の言葉」を分かりやすくする提案 (平成21年3月)

国立国語研究所>研究成果>言語問題の解明と解決に向けての提案>「病院の言葉」を分かりやすくする提案

A: ある病気が原因となって起こる別の病気

B: 検査や手術がもとになって起こる病気→併発症、または手術併発症、検査併発症

「合併症」という言葉の認知率は非常に高い(97.6%)。ところが、ABいずれの意味も理解度は極めて低く(A:54.0%, B:18.5%)、言葉は知られていても意味が理解されていないという点で、この言葉を使っても正しく伝わらない危険性が高い。正しく理解されない原因には、日常語「合併」と医療用語「合併症」とで意味のずれが大きいこと、医療用語の「合併症」が二つの意味を同じ言葉で表していること、の二点がある。それぞれについて混同を避ける言葉遣いの工夫が求められる(p.160)。

(『病院の言葉を分かりやすく 工夫の提案』国立国語研究所「病院の言葉」委員会編、勁草書房、2009.3)

- ⑤ 「外来語」言い換え提案 (平成18年3月)

国立国語研究所>研究成果>言語問題の解明と解決に向けての提案>「外来語」言い換え提案

理解度 全体 ★★☆☆

コミュニティー

60歳以上 ★★☆☆

【言い換え語】 地域社会 共同体

【用例】

地域社会

高齢化の急速な進行や転出者の増加により、コミュニティーの活力の低下が懸念される事例も見受けられる。

共同体

環境負荷の少ない発電に賛同する人のコミュニティーができたので

【手引き】

◎地域性による結びつきの場合は「地域社会」、共通の関心などによる結びつきを重視する場合は「共同体」と言い換えられる。その両方の意味を生かしたい場合は「地域共同体」とすることもできる。文脈によっては、単に「地域」「社会」で言い換えられる場合もある。

【複合語例】

地域コミュニティー＝地域社会

コミュニティービジネス＝地域事業

コミュニティーバス＝地域バス

コミュニティーセンター＝交流会館

(『分かりやすく伝える外来語 言い換え手引き』国立国語研究所「外来語」委員会編、ぎょうせい、2007.6)

⑥ 外来語・外国語の取扱い及び姓名のローマ字表記について

文化庁 H>国語施策・日本語教育>国語施策>参考資料

「外来語・外国語の取扱い及び姓名のローマ字表記について（依頼）」平成12年12月26日

このたび、第22期国語審議会は、「現代社会における敬語表現」、「表外漢字字体表」及び「国際社会に対応する日本語の在り方」を取りまとめ文部大臣に答申しました。

答申のうち、「国際社会に対応する日本語の在り方」では、官公庁や新聞・放送等における外来語・外国語の取扱いに関し、一般に定着していない外来語・外国語を安易に用いることなく、個々の語の使用の是非について慎重に判断し、必要に応じて注釈を付す等の配慮を行う必要があるとしています。また、日本人の姓名のローマ字表記に関し、「姓一名」の順とすることが望ましいとし、官公庁や報道機関等における表記及び学校教育における英語等の指導において、その趣旨が生かされることを希望しています。

(以下略)

*依頼先は、各省庁、各都道府県、各大学・短期大学・高等専門学校、その他各関係機関

3. 「国語科」と「ことば科」

小学校学習指導要領〔第5学年及び第6学年〕

第3-3 教材については、次の事項に留意するものとする。

- (1) 教材は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、表現することの能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、児童の発達段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。(以下略)
- (2) 教材は、次のような観点に配慮して取り上げること。
 - ア 国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。
 - イ 伝え合う力、思考力や想像力及び言語感覚を養うのに役立つこと。
 - ウ 公正かつ適切に判断する能力や態度を育てるのに役立つこと。
 - エ 科学的、論理的な見方や考え方を育て、視野を広げるのに役立つこと。
 - オ 生活を明るくし、強く正しく生きる意志を育てるのに役立つこと。
 - カ 生命を尊重し、他人を思いやる心を育てるのに役立つこと。
 - キ 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てるのに役立つこと。
 - ク 我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を育てるのに役立つこと。
 - ケ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家、社会の発展を願う態度を育てるのに役立つこと。
 - コ 世界の風土や文化などに理解をもち、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

中学校学習指導要領〔第2学年及び第3学年〕

1 目標

- (1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じた的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
- (2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。

教育課程特例校

主な取組み（平成21年4月1日現在）

○ 学校や地域の特性を生かした教科を新設すること等により、小中連携を推進する公立学校の取組み。

（19件、小学校496校、中学校241校）

東京都世田谷区 小学校では「生活」及び「総合」の一部を、中学校では「総合」の一部を組替え、（平成19年度より）小中の全学年で「日本語科」を実施。

新潟県新発田市 小学校では「生活」及び「総合」の一部を、中学校では「国語」及び「総合」の（平成20年度より）一部を組替え、小中の全学年で「日本語科」を実施。

静岡県沼津市 小学校では「生活」及び「総合」の一部を、ちゅうがっこうでは「総合」の一部（平成18年度より）を組替え、小中全学年で「言語科」を実施。

広島県広島市 小学校5・6年及び中学校の全学年で「総合」の一部を削減し「言語・数理運用（平成19年度より）科」を実施。

福岡県八女市 小学校では「生活」及び「総合」の一部を、中学校では「国語」及び「総合」の（平成21年度より）一部を組替え、小中の全学年で「礼節・ことば科」を実施。

鹿児島県薩摩川内市 小学校で「生活」及び「総合」の一部を、中学校で「国語」「技術・家庭」及び「総合」（平成18年度より）の一部を組替え、「コミュニケーション科」等を実施。

兵庫県伊丹市 小学校3~6年で「国語」及び「総合」の一部を組み替え「ことば科」を実施。（平成20年度より）中学校では「総合」の一部を組み替え、「グローバル・コミュニケーション科」として外国語や国際理解に関する教育も実施。

◎広島県の「中学校学習指導要領 『ことば科』（素案）」より抜粋

広島中学校では、具体的には、「ことば科」を type1「論理」領域と type2「ロジカル・コミュニケーション」領域の2領域に分けて設定し、その2領域で構成する「ことば科」を、各教科の核となる「論理的な思考力・表現力」の育成を図るための教科と位置付ける。「論理」領域では、話型・文型等の型をトレーニングし、数学科・理科・社会科等との合科的な問題解決的な学習に応用させる。また「ロジカル・コミュニケーション」領域では、話型・文型等の型を活用した外国語のライティング、スピーキング等をトレーニングする。「ことば科」をこの二つの領域で構成することで、日本語による論理的な言語運用能力の育成と、外国語による論理的な言語運用能力の育成を図り、各教科における言語運用活動をモニターし、その充実を図っている。

4. 平成22年度「国語に関する世論調査」より

文化庁 HP>国語施策・日本語教育>国語施策>国語に関する世論調査

II. 調査結果の概要

2. 国語に関して国に期待すること

[平成11年度]

- | | |
|------------------------------------|-------|
| ・家庭や社会で正しい言葉遣いが行われるようにする……………38.8% | 42.6% |
| ・学校での国語の教育をより充実させる……………36.8% | 36.6% |

・言葉の意味・由来や国語の伝統が受け継がれるようにする…	31.9%	29.8%
・国語に対する意識が高まるようにする……………	28.0%	23.6%
・国が発行する印刷物の中に 外来語が多くなり過ぎないようにする……	24.3%	25.2%
・敬語など言葉遣いの標準を決めて、その普及に努める……	23.9%	24.5%
・方言を大切にし、受け継がれるようにする……………	22.1%	22.3%
・古典文学や古典芸能を大切にし、保存する……………	18.6%	20.5%
・外国人に対する日本語の紹介や教育を充実させる……………	11.3%	12.3%
・文字や表記の仕方の標準を決めて、その普及に努める……	9.9%	9.6%
・発音・アクセントの標準を決めて、その普及に努める……	6.3%	10.5%
・特に期待することはない……………	15.7%	15.2%

5. まとめ

日本社会は多言語化していると言えるが、日本語話者の割合が圧倒的に多い現状からは、「国語」としての「日本語」の教育は維持すべきである。しかし、「国語科」を削ってでも実施される傾向にある「日本語科」や「ことば科」などの存在は、今の「国語科」が国民の期待する国語教育に十分にできていないことを示唆している。

「国語科」の学習指導要領の内容は、実は、この「日本語科」や「ことば科」の目指すものを明確に示している。にもかかわらず実態を伴っていないところに、問題の根本がある。